



桐

桐光会広報誌

創刊号

平成16年3月6日発行

調布病院広報委員会
桐光会広報誌編集委員会



祝

調布病院50周年

フロリール調布10周年

調布訪問看護ステーション5周年

桐光会広報誌創刊号によせて

この度、桐光会から広報誌を発行するはこびとなり、ひとしお感慨にふけております。と申しますのも今、ひとつの大切な節目の時を迎えているからです。この記念すべき時期に創刊号を発刊出来る事は、望外の喜びです。

調布病院は昨年創立50周年を迎え、介護老人保健施設、訪問看護ステーションが今年各々10周年、5周年を迎えます。そしてこの3月に社会福祉法人桐仁会特別養護老人ホーム「ちょうふ花園」を開設する運びとなり、これで私共が目指してきた医療・介護・福祉の複合施設が整うからであります。

また安全な医療を提供するべく、平成16年度調布病院は医療機能評価を受審する予定でもあります。見事に修了出来ればきっと病院のあるべき姿になっている筈です、関係職員皆様の奮闘により、産みの苦しみにも耐え無事に誕生するよう期待しております。

地域住民の方々に地域医療を提供するべく先代がこの地に病院を開設いたしました。以来50年間地域の方々に愛され信頼されるようにと、この道一筋にやってこれましたのも、職員一同の努力もさることながら、医師会はじめ大勢の関係者の方々、そして各企業のご協力ご支援があったればこそと、心から深謝申し上げます。

今後も地域の方々が救急から在宅、終息の時まで住み慣れた土地で安心して暮らして頂くためには、病病連携、病診連携をさらに充実させるほかに、まだまだやるべき事が沢山あります。当施設をご利用される方々、関係者の方々のご意見を頂戴しながら、一步一步確実に邁進して参りたいと思います。

何卒暖かいご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

平成16年3月吉日

桐光会理事長 杉崎 那美子



調布病院と桐光会の歩み



調布病院 150床
(含む長期療養病床22床)

東京都指定二次救急医療機関

主たる診療科目

整形外科・脳神経外科・外科
産婦人科・泌尿器科・放射線科
内科・心療内科
リハビリテーション科・麻酔科
人工透析室(30床)
人間ドック・脳ドック



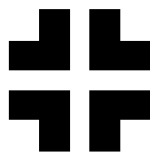
フロリール調布 80床



調布訪問看護ステーション

略 歴

昭和28(1953) 杉崎千登子が51床の個人病院を開設
昭和44(1969) 1号館を改築、増床
昭和48(1973) 人工透析を開始
昭和53(1978) 2号館を増築・増床
昭和56(1981) 3号館を増築・増床
昭和63(1988) 医療法人化、桐光会調布病院となる、杉崎千登子理事長に就任、杉崎弘章2代目病院長に就任。
平成03(1991) 杉崎那美子3代目院長に就任
平成05(1993) 杉崎那美子桐光会理事長兼務
平成06(1994) 老人保健施設フロリール調布を併設
平成11(1999) 調布訪問看護ステーション併設、長期療養型病床オープン、市内で始めてMRIを導入
平成15(2003) 調布病院50周年、ICUオープン
平成16(2004) 姉妹施設特別養護老人ホーム「ちょうふ花園」開設



調布病院の理念

患者様の権利を尊重し、安全に安心してお受けいただける医療を、安定した環境で提供いたします。

調布病院の基本方針

調布病院の運営は、患者様の権利を尊重し、患者様の立場に立った適正な医療の実践を心がけ、桐光会の目指すトータルライフケアのうち、特に救急および急性期医療の提供を通して地域社会に貢献することを目的とします。

1. 急性期医療体制を充実させる
2. オーダリングシステムと看護支援システムの連携による安全な医療を提供する
3. 患者様の権利を尊重した医療を提供する
4. 自己研鑽により知識と技能を高め、医療の質の向上を目指す
5. 「仁」の心を持ち、医療サービスを実践する
6. 健全な経営により、安定した医療を提供する環境を整える

患者様の権利

1. 患者様は、公正で適正な医療を受ける権利を有します。
2. 患者様は、すべての医療上の情報を受ける権利を有します。
3. 患者様は、お受けになる医療の内容を自由に選び、決定する権利を有します。
4. 患者様は、尊厳とプライバシーを守る権利を有します。

患者様の声から

皆様からお寄せいただいたご要望に基づいて、院内の施設改善に取り組んでいます。

外来診察室の扉をスライド式（写真）に変更し、開口部がより広く、開け閉めしやすくなりました。

この他トイレの出入り口の段差を無くすなど、患者様が安全で快適に利用できるよう施設を改善していきたいと思えます。

ご意見・ご要望等ありましたら、1F受付横「患者様の声」までお願いします。



第1回CT Perfusion研究会で講演を行いました

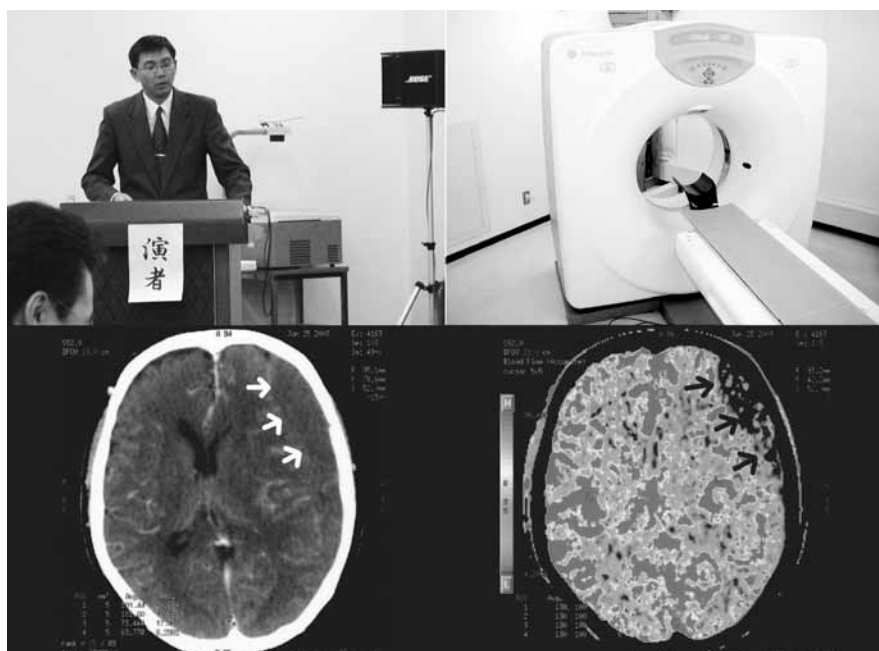
当院では一昨年6月にマルチスライスCTを導入してからCT Perfusionを積極的に臨床へ活用してきました。その成果を平成16年1月24日に東京・京橋で行われた第1回CT Perfusion研究会で報告しました。講演は当院脳神経外科の鈴木祥生医師によりCT Perfusionが慢性硬膜下血腫の手術適応決定に有用であるという内容で行われました。当日は大学病院や医療機関、研究施設など多数の関係者が詰めかけ立ち見が出るほど盛況でした。

・ PerfusionCTとは？

X線CTとヨード造影剤を用いた脳血流定量検査方法で短時間で急速に静脈注射したヨード造影剤が頭の動脈から静脈まで流れる様子をリアルタイムに撮影し、その結果をコンピュータ処理して視覚的に診断できるようにした検査である。主に虚血性脳血管障害（脳梗塞など）の超急性期診断に利用されることが多い。

・ 慢性硬膜下血腫とは？

頭部外傷後、通常3週間以上経て硬膜下腔に血液が貯留してきた状態をいう。硬膜下腔の血液の貯留が増加してくれば、頭痛や吐き気などが出現し、さらに進行すると片麻痺も出現し、手術が必要となる。血腫が著しく増加すると脳ヘルニアを起こし、生命に危険が生じる事もある。



左上：講演風景 右上：マルチスライスCT装置
左下：CT画像（矢印の部分に血液が貯まり脳が圧迫されている）
右下：Perfusion画像（矢印の部分で脳の血流の低下を示している）

救急救命士が病院実習を行いました

調布病院では、平成11年4月の休日・全夜間診療事業の発足以降、東京都知事指定の二次救急医療機関として機能しています。このたび当院は救急救命士の病院実習実地医療機関として指定されました。これを受けて平成16年1月26日から31日までの6日間に3名の救急救命士が当院で病院実習を行いました。救急外来・ICUなど計11個所の実習と16の講義を通して、救急医療の知識を学び、経験を積んでいただきました。

今回の実習によって救急救命士・病院スタッフ共に得られた教訓や提案を活かしこれからも患者様に安心した救急医療を提供できるよう努力していききたいと思います。

・ 救急救命士とは？

医師や看護師と同様に、国家資格を持った医療のスペシャリスト。主に救急車に乗りし、救急現場で事故や病気の最初の段階を担当する。



左上：麻酔科講義 右上：ICU実習
左下：放射線科見学 右下：手術室見学

フロリール調布

調布市に最初の介護老人保健施設として平成6年に開設し10年が経ちました。

介護老人保健施設としての役割である

1. 総合ケアサービス施設
2. 家庭復帰施設
3. 在宅ケア支援施設
4. 地域に開かれた施設

として1,800名を超すご利用者様に施設・在宅サービスを提供してきました。

これからも、施設の基本方針である「皆様が安心して第二の我が家と思える様な暖かい施設を目指します」を実現できるようにより良いサービスを提供して参ります。



お申し込み・お問い合わせは
TEL 0424 (84) 2627

調布訪問看護ステーション

調布訪問看護ステーションは今年で5周年をむかえることができました。

現在、看護師4名・訪問リハビリテーションスタッフ3名で活動中です。

特に訪問リハビリテーションに力を入れ、介護の負担軽減に繋がる様に、日常生活動作の向上、回復、維持、指導を行っています。

さらに、主治医や他医院との連携を行い医療的補助や在宅看護の指導も行っています。

これからも各機関との連携を密に行い、在宅で安心して安寧な生活が送れる様お世話を致します。



お申し込み・お問い合わせは
TEL 0424 (43) 9765

桐光会の姉妹施設として



社会福祉法人桐仁会
小規模生活単位型特別養護老人ホーム



が平成16年3月にオープンします。

施設の特徴として新型特養といわれるユニットケアを行います。10人一単位で2階3階に各々4単位あります。ユニット毎にキッチン付きの食堂があり、入居者がご飯を炊いたり、味噌汁やお菓子などを作ったりして生活を楽しむことが、身体機能の維持向上につながります。また全個室にトイレを設け気持ち良く好きなときに使用出来るように配慮しました。

食事は新調理法をとりいれました、調理時ゴミが少なく環境にやさしく、新鮮なまま保存がきくので、3食とも選択食が可能です。

お風呂はひのき製の個別浴槽で深大寺温泉〈ゆかり〉の湯を楽しむ事が出来ます。

住・食・入浴に配慮し高齢者の方々が、ゆったりと過ごせる環境を整えました。

お申し込み・お問い合わせは

TEL 0424 (84) 2002
FAX 0424 (81) 1284

インターネットからは

<http://www.tojinkai.or.jp/>



禁煙外来が始まりました

平成16年2月2日より禁煙外来が始まりました。タバコを止めようと思っ
ている方、今まで何度も禁煙に失敗している方、ぜひ一度当院禁煙
外来を受診してみたいはいかがでしょうか。

受付時間：毎週月曜日～金曜日の午後2時～4時まで

原則として予約制になります。

詳しくは受付またはお電話でお問い合わせ下さい。



調布病院 外来担当医一覧表

		月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
内 科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	<呼吸器> ○	<糖尿・肥満> ○	<循環器> ○	<神経内科> ○	<循環器> ○	
消化器科	午前						○
	午後	○	○	○	○	○	
産婦人科	午前						○
	午後	○	○	○	○	○	
整形外科	午前のみ	○	○	○	○	○	
脳神経外科	午前のみ	新患のみ○	○	○	○	○	<脳神経外科> ○ <脳神経内科> ○
泌尿器科	午前のみ	○	○	○	○		○
禁煙外来	2:00~4:00	○	○	○	○	○	
その他（午後）				<漢 方> ○	<乳児検診> 第2・第4週のみ ○	<心療内科> <内分泌・代謝> ○ <胃腸内科> 15:00~16:00のみ ○	
リハビリ	午前						
	午後	○	○	○	○	○	

各科からのお知らせ

- ☆産婦人科は全員女性医師により診察を行っております。
- ☆内科<糖尿・肥満>の火曜日の再診は予約制になっております。
- ☆脳神経外科の水曜日～土曜日の再診は予約制になっております。
- ☆リハビリは各科外来受診後に主治医の指示に基づいて行います。

診察開始時間 月～土（土曜は午前のみ）
（午前）9:00～（午後）14:00～
診察受付時間 月～土（土曜は午前のみ）
（午前）8:20～12:30 （午後）13:30～16:00
日曜・祝祭日 休診
急患は随時診察いたします

注：緊急手術による休診、医師の変更などがござい
ますのでご了承下さい。詳しくは、下記電話または受
付にてご確認ください。

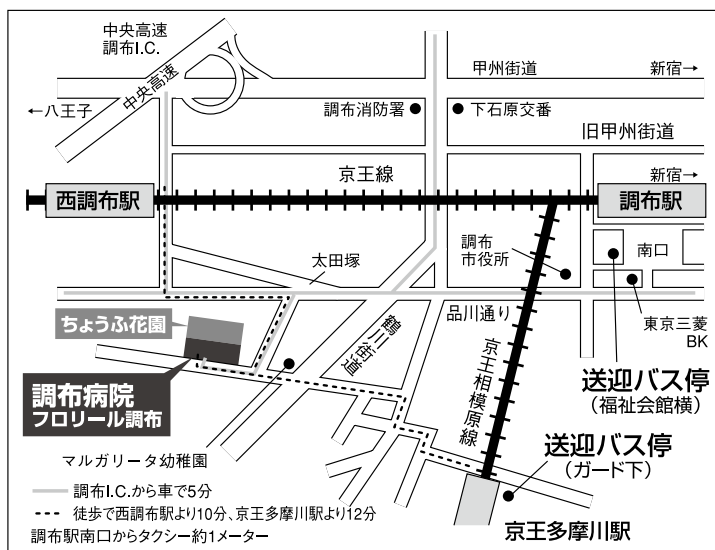
代表 0424-84-2626

送迎バス時刻表

福祉会館出入口⇔調布病院

調布駅発	時間	調布病院発
37(月曜のみ30)	8	
00 20 40	9	10 30 50
00 20 40	10	10 30 50
00 20 40	11	10 30 50
00 20 40	12	10 30 50
00 40(土曜のみ30)	1	30(土曜のみ20)
10 40	2	00 30
20(土曜除く) 40	3	10(土曜除く) 30 50
00 40	4	30 50
00 25	5	15
10(土曜除く)	6	00(土曜除く)

※京王多摩川駅経由、京王多摩川からの送迎バスの時刻は調布
駅発3～5分後です。日曜祭日は運行しておりません



医療法人 調布病院
社団桐光会

介護老人保健施設 フロリール調布

調布訪問看護ステーション

〒182-0034 東京都調布市下石原3-45-1
TEL0424(84)2626(代) FAX0424(81)0323
<http://www.tokokai.or.jp>